



自由民主党 政務調査会 新型コロナウイルス感染症対策本部 ヒアリング資料

令和2年11月19日
公益社団法人 日本薬剤師会

新型コロナウイルス感染症と 季節性インフルエンザとの同時流行に備えた 医薬品供給体制の確保に向けて



- ワクチンについて
- 「診療・検査医療機関」と連携して対応する
薬局への支援について
- 薬局への財政支援について

1. ワクチンについて



1) 新型コロナウイルス感染症ワクチンの優先接種

- 地域医療提供体制の維持・確保のため、「直接医療を提供する施設の医療従事者等」に医療機関（病院・診療所）の薬剤師、保険薬局の薬剤師及び患者対応を行う従業員を、ワクチン優先接種の対象として明示的に位置づけていただきたい。

2) 国産ワクチン開発への支援

- 安全で有効なワクチンをできるだけ早期に国民へ安定して供給できるよう、国内企業によるワクチン開発に対して、積極的な支援をお願いしたい。

2. 「診療・検査医療機関」と連携して対応する薬局への支援



- 患者がかかりつけ薬局から安心して医薬品が入手できるよう、発熱患者等が受診する「診療・検査医療機関」と連携して、地域の医薬品供給を担う薬局の感染防止のための体制整備について財政支援をお願いしたい。
- 都道府県における新型コロナウイルス感染症対策を協議する場に、薬局も含めた地域の医療提供体制構築のため、都道府県薬剤師会が協議会に参加できるよう明示的に都道府県に対し指示していただきたい。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 薬局経営への財政支援



- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、処方長期化や患者数の減により、薬局の実収入である技術料が減少する一方、長期処方による医薬品購入額の急増による、キャッシュフローの悪化とが相まって、薬局経営へ大きな影響を与えている。
- すでに実施されている事業者支援策は、売上が減少しないと利用できないものが多く、調剤報酬における薬剤比率を考慮すると、薬局は売上高に技術料の減少が反映し難い構造の為、キャッシュフローの悪化が生じても支援金を利用できない。
- 新型コロナウイルス感染症は長期化が予想されており、来年度においても**薬局機能を維持するための必要な財政的な支援**を是非ともお願いしたい。



参考資料

薬剤師・薬局の役割



- 国民に適切な医薬品を的確に提供できる体制の確保
 - ・患者の服薬情報に関する一元的・継続的な把握と薬学的管理・指導
- 地域包括ケアシステムにおける安全な薬物治療の確保に向けて
 - ・多職種連携、チーム医療への貢献
 - ・医師の働き方改革の実現に向けた連携・支援
- 医薬品適正使用のための各種方策
 - ・残薬解消、ポリファーマシーの抑制、後発医薬品等の使用促進、相互作用や副作用の防止等
- 国民自らによる疾病予防・健康管理の推進
 - ・セルフケア、セルフメディケーションの支援
 - ・健康サポート機能を持った薬局の活用
 - ・地域住民に対するOTC医薬品の適切な提供
- 国民皆保険の堅持
 - ・国民が安心して最適な医療を受けられる環境の確保

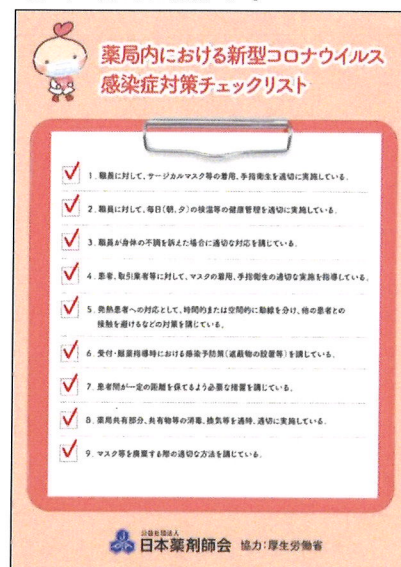
新型コロナウイルス感染症等感染防止対策実施薬局 「みんなで安心マーク」の発行



令和2年9月7日より、日本薬剤師会では、患者さんが安心して薬局に来局できるよう、感染防止対策を徹底している薬局に対して、『新型コロナウイルス感染症等感染防止対策実施薬局 みんなで安心マーク』を発行しています（発行件数：7,663件（11月5日時点））。



みんなで安心マーク



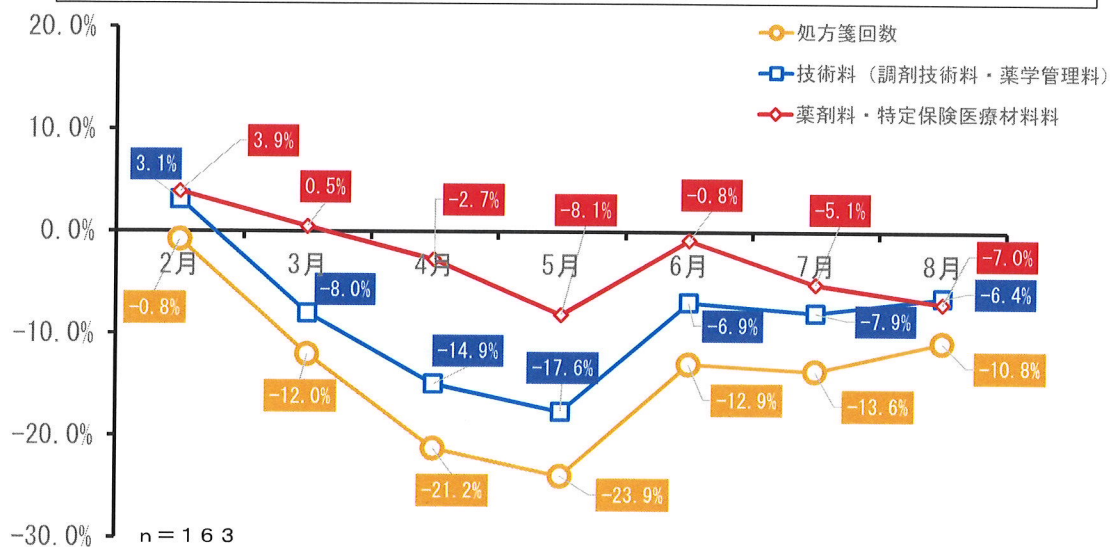
薬局内における新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

新型コロナウイルス感染症による薬局経営への影響



(調査の主な結果)

- ・ 8月分の処方箋回数（患者数）は**前年同月比10.8%減**
- ・ 調剤報酬の技術料^{注1}は**同6.4%減**、薬剤料^{注2}は**同7.0%減**



n = 163

注1) 本調査は5月から継続的に実施しているもの。

注2) 本調査は今後も実施予定。